

10/18 開催！第7回秋季カンファレンス「歯周病治療に国境なし」

大会長の森浦です。今年度の秋季カンファレンスでは、初めての海外講師として、上海の同済大学より王佐林先生(歯学部附属病院長、インプラント科教授)をお迎えし、ご講演を賜ります。また同大学歯周病科の劉宏偉教授もお招きいたします。

来日される先生方からはインプラントと歯周病の関係や中国の最新歯科事情をお話し頂くと同時に、当研究会講師による歯周内科治療の実際を知って頂く絶好の機会になるかと思えます。

同済大学は1907年に「ドイツ語医学堂」として設立された長い歴史を持ち、現在は在校生が5万人を越える国立総合大学として発展している名門校です。

昨年10月より、当研究会の理念を実現すべく、アジアデンタルフォーラムの江藤先生のご尽力により、同大学への表敬訪問や歯周内科治療のプレゼンテーションなどを重ね、今回のご講演が実現いたしました。

また7月には当会理事の花田真也先生が同大学で講演されるなど、当会との御縁も深いものがあります。中国歯科医療の最新知見を得ることの出来る貴重な講演になると思われます。

また、今回はその他の講演を全て内部講師とし、内容も歯周内科で固める事といたしました。特にPCRや3DSの登場以降の歯周内科について、より具体的に会員の皆様に整理と理解が出来るような講演をお願いしておりますので、ベテランの先生から、入会されて日の浅い先生まで幅広い先生方にとって、意義ある講演になると考えますので、多くの御参加をお待ちしております。

王 佐林先生(上海 同済大学歯学部附属病院院長)

演題「上顎臼歯部のインプラント修復」(仮題)



インプラント修復の中でも特に上顎臼歯部のインプラントについて、現代中国の最新知見をご披露していただきます。

王佐林先生御略歴

1993年上海第二医科大学卒業

2002年長崎大学歯学部博士課程留学

2004年長崎大学歯学部講師

2008年 UCLA インプラントセンター上級客員研究員
上海教育功労賞、上海科学技術進歩賞などを受賞

生田 隼南先生(国際歯周内科学研究会 常務理事 熊本県天草市開業)

演題「歯原性菌血症」



混合診療を回避する「歯原性菌血症」という考え方と、それが生んだ「口の病気と全身疾患の関係」に対する患者理解の深まりについて。カリエス原因菌を対象とするリアルタイム PCR の開発状況、3DS の症例提示など歯周内科の今と今後の展望をお話しいたします。

津島 克正 先生 (国際歯周内科学研究会 代表理事 青森県五所川原市開業)



演題「歯周内科治療長期症例報告」

～除菌後10年間のRt-PCR検査での追跡調査～

10年間に渡る長期症例で分かったこと。検査結果を診療へどう反映させるかなど、具体的なお話が聞ける講演となる予定です。

米崎 広崇先生 (国際歯周内科学研究会 評議員 愛知県豊田市開業)



演題 「歯周内科治療の次の一手」(仮題)

歯周内科治療を行ったにも関わらず顕微鏡的あるいは臨床所見上の改善が認められない患者さんに出会った時にどうすれば良いのか。再発に対してどう取り組むべきか。試行錯誤を繰り返し、格闘し続けた先生のお話しです。リアルタイム PCR のスムーズな導入の為の説明、運用の実際についてもお伝えいたします。

秋季カンファレンススケジュール(タイムテーブルは変更になる場合がございます)

10:00 開場
10:50～11:00 開会 大会長ご挨拶
11:00～12:20 特別講演 王 佐林先生

「上顎臼歯部のインプラント修復（仮題）」

12:20～13:20 昼食（お弁当を用意します）

13:20～13:45 理事講演 生田 凶南先生「歯原性菌血症」

13:45～14:10 理事講演 津島 克正先生

「歯周内科治療長期症例報告 ～除菌後 10 年間の Rt-PCR 検査での追跡調査～」

14:10～14:20 休憩

14:20～15:50 会員発表 米崎 広崇先生

「歯周内科治療の次の一手（仮題）」

15:50～16:00 質疑応答 閉会の言葉

第7回秋季カンファレンス

日時：平成 27 年 10 月 18 日(日)

10：00 開場 10：50～16：00

会場 大阪 OBP 内クリスタルタワー20 階会議室

〒540-6020 大阪市中央区城見 1-2-27- TEL:06-6949-5151



アクセス

JR 環状線「大阪城公園前」下車 徒歩約 10 分

JR 環状線・京阪本線「京橋駅」下車 徒歩約 10 分

JR 東西線「大阪城北詰駅」下車 徒歩約 5 分

地下鉄長堀緑地線「大阪ビジネスパーク駅」地下道直結徒歩約 1 分



※クリスタルタワーHPより引用